

2015 年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

一、各事業報告

1 自然保全事業（公1）

【草原保全活動】

（1）野焼き・輪地切り支援活動

草原保全活動センターを拠点とし、野焼き・輪地切り支援活動等の草原保全活動について、安全管理を徹底しグリーンストック運動の最も重要な事業（活動）として取り組みました。今年、派遣人数が延べ2,518名と昨年より542名増となり、伴い企業・団体から研修会の参加も増え、今後のボランティア活動の拡大に向けて弾みが付きました。

① 輪地切り・輪地焼き支援活動期間

- ・実施時期：平成27年8月～平成28年2月
- ・実施場所：72カ所
- ・派遣人数：計1,205名
 - 阿蘇市（舞谷、二塚 他11牧野）計647名
 - 南小国町（慈門坊、田の原、吉原、赤馬場牧野）計56名
 - 高森町（上在、村山、高尾野 他5牧野）計201名
 - 南阿蘇村（なわす、上二子石、中松2区 他8牧野）計266名
 - 西原村（鳥子）35名

② 野焼き支援活動期間

- ・実施時期：4月～5月、2～3月
- ・実施場所：約63カ所
- ・派遣人数：計1,313名
 - 阿蘇市（町古閑、二塚、小堀、舞谷、他20牧野）計564名
 - 南小国町（扇、赤馬場、吉原自治会、慈門坊、他4牧野）計200名
 - 小国町（縦木）17名
 - 高森町（上在、村山、小倉原、高尾野、蔵地、神原、花咲盛）計240名
 - 南阿蘇村（下磧、長野、夜峰、池の窪、他4牧野）計243名
 - 西原村（萌の里、大切畑、鳥子）計37名
 - 山都町（柳谷）12名

(2) 研修会の開催等

野焼き・輪地切り支援活動について、引き続き安全管理の強化のための講習会、研修会等を開催しました。また、支援牧野の増加もありボランティア会員の増員に向けて草原保全活動センターを活用し強化してきました。

① 野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催

| | | | |
|-----|----------------|-----|-----|
| 第1回 | (2015. 4. 25) | 参加者 | 37名 |
| 第2回 | (2015. 8. 22) | 参加者 | 42名 |
| 第3回 | (2015. 12. 19) | 参加者 | 42名 |
| 第4回 | (2016. 1. 30) | 参加者 | 47名 |

② 刈払機安全講習会の開催

| | | | |
|-----|---------------|-----|-----|
| 第1回 | (2015. 8. 23) | 参加者 | 30名 |
| 第2回 | (2015. 8. 29) | 参加者 | 51名 |

③ リーダー養成研修会

| | | | |
|-----|---------------|-----|----|
| 第1回 | (2015. 7. 19) | 参加者 | 7名 |
| 第2回 | (2015. 1. 24) | 参加者 | 2名 |

④ 初心者研修会

| | | | |
|---------|---------------|------|-----|
| 第1回 | (2015. 12. 6) | 参加者 | 58名 |
| 南倫理法人会 | (2016. 1. 17) | 参加者 | 22名 |
| (株) えがお | (2016. 1. 23) | 参加者 | 39名 |
| 第2回 | (2016. 1. 31) | 参加者 | 61名 |
| 第3回 | (2016. 2. 6) | 参加者 | 71名 |
| 第4回 | (2016. 2. 7) | 参加者 | 40名 |
| 第5回 | (2016. 2. 24) | 参加者 | 61名 |
| 関西学院大 | (2016. 2. 26) | 参加者 | 6名 |
| | 合計 | 358名 | 受講 |

⑤ ボランティア会員安全管理研修会

| | | | |
|-----|---------------|-----|------|
| 第1回 | (2015. 11. 1) | 参加者 | 102名 |
|-----|---------------|-----|------|

(3) 活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格（1泊600円）にて提供し、遠方より参加の場合や、ボランティア開始時間が早いため、移動中の自動車事故防止のためにも利用していただけるようしています。今年度は延べ136名の利用がありました。

【森づくり活動】

水源涵養の森づくり活動については、連携企業・団体の方々と共に、これまで植林してきた広葉樹の森の下草刈りや枝打ち作業を行いました。

- ・4月9日 西陵ロータリークラブ 参加者 16名 (阿蘇市)
- ・10月3日 コカ・コーラウェスト 参加者 64名 (西原村)
- ・10月10日 富士通 参加者 99名 (西原村)

【普及啓発活動】

野焼き支援活動の情報発信及び普及・啓発、広がりづくりの取り組みを行いました。結果については下記とおりです。

①『阿蘇草原の野焼き支援活動入門セミナーin 福岡』

- ・実施時期 平成27年12月20日(日)、22日(火)2日間
- ・実施場所 福岡市電気ビル共創館
- ・参加人数 福岡市近郊の勤労者や市民など計75名参加
- ・実施内容 牧野組合員、野焼き支援ボランティアが現状報告や体験談などについて講話をし、その後参加者との意見交換を行った。

②「阿蘇草原再生フォーラム in 福岡」

- ・実施時期 平成28年3月11日(金)
- ・実施場所 電気ビル共創館みらいホール
- ・参加人数 150名
- ・実施内容
 - ・基調講演「九州の宝 阿蘇の草原をどう守り伝えるか」
講師：高橋佳孝阿蘇草原再生協議会会長
 - ・パネルディスカッション「九州の宝 — 阿蘇に期待すること」
コーディネーター：坂本正阿蘇草原再生千年委員会委員長
パネラー：松尾新吾九州経済連合会名誉会長
石原進九州観光推進機構会長
川崎隆生西日本新聞社社長
高橋佳孝阿蘇草原再生協議会会長

草原維持管理を継続させることの重要性、農業や観光による阿蘇の再生が九州全域への与える波及効果の大きさ、産官学の連携推進と千年委員会の次の方向性などが議論された。

※ 公1の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|-------------|------------|--------------------------------------|
| 活動会員受取会費 | 1,322,000 | 野焼きボランティア会費 |
| 自然保全事業収益 | 14,532,322 | 草原保全システム(1129万)、機 関誌購読、下草刈り他 |
| ゆたっと村利用事業収益 | 81,600 | ボランティア活動時の宿泊費 |
| 受取補助金等 | 14,493,896 | 阿蘇草原再生募金助成金(431万) 多面的機能支払(1,018万) |

| | | |
|-------|------------|---|
| 受取寄付金 | 4,647,581 | 草原ハンバーグ(57万)、トヨタ(163万)、西日本シティ(116万)、松合食品(33万)、他 |
| 雑収入 | 25,500 | |
| 収入合計 | 35,102,899 | |

| | | |
|------|------------|--|
| 人件費計 | 13,019,447 | |
| 物件費計 | 22,151,570 | |
| 支出合計 | 35,171,017 | |

(収入) 35,102,899 円 - (支出) 35,171,017 円 = △68,118 円

2 自然体験・農業体験学習事業(公2)

(1) 農村体験型修学旅行受入事業(ファームステイ)

子どもたちが一般の農家に民泊し、阿蘇の農村での生活や様々な農業体験を通して農業・農村の大切さを学び、自然や人とのふれあいを大切にした体験企画などで、青少年の健全な育成を目指すことを目的に取り組みました。

今年度も昨年度に続き、阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、高森町を加え約120軒の受け入れ農家の方々と共に、安全講習会・衛生講習会を経て中国、四国、関西、関東方面からの修学旅行約20校2,382名の中・高校生の農村民泊及び農業体験学習などの受け入れを行いました。

実績は以下の通りです。

| | 受入日 | | 学校名 | 都道府県 | 人数 |
|----|-------|---|---------------------------|------|-----|
| 1 | 4月14日 | 火 | 三豊市立 ^{たくま} 詫間中学校 | 香川 | 114 |
| 2 | 4月15日 | 水 | 観音寺市立中部中学校 | 香川 | 163 |
| 3 | 4月15日 | 水 | 学校組合立三豊中学校 | 香川 | 125 |
| 4 | 4月16日 | 木 | 観音寺市立豊浜中学校 | 香川 | 61 |
| 5 | 4月17日 | 金 | 倉敷市立下津井中学校 | 岡山 | 41 |
| 6 | 4月21日 | 火 | クラーク記念国際高等学校 所沢キャンパス | 埼玉 | 33 |
| 7 | 4月23日 | 木 | 多度津町立多度津中学校 | 香川 | 165 |
| 8 | 4月24日 | 金 | 坂出市立白峰中学校 | 香川 | 158 |
| 9 | 4月24日 | 金 | 坂出市立東部中学校 | 香川 | 87 |
| 10 | 4月25日 | 土 | 三豊市立豊中中学校 | 香川 | 111 |
| 11 | 4月27日 | 月 | 坂出市立坂出中学校 | 香川 | 142 |
| 12 | 4月29日 | 水 | 観音寺市立観音寺中学校 | 香川 | 121 |
| 13 | 5月9日 | 土 | 丸亀市立南中学校 | 香川 | 313 |

| | | | | | |
|----|-------|---|-----------------------------|----|-------|
| 14 | 5月14日 | 木 | 大阪市立佃中学校 | 大阪 | 161 |
| 15 | 5月31日 | 日 | 明石市立野々池中学校 | 兵庫 | 227 |
| 16 | 6月9日 | 火 | 大阪市立旭陽 ^{きよくよう} 中学校 | 大阪 | 183 |
| 17 | 6月10日 | 水 | 坂出市立瀬居中学校 | 香川 | 10 |
| 18 | 6月12日 | 木 | 彦根市立南中学校 | 滋賀 | 39 |
| 19 | 9月2日 | 水 | ユニバーシティカレッジ南九州 | | 6 |
| 20 | 9月15日 | 火 | 大阪市立泉尾高校 | 大阪 | 122 |
| | 計 | | | | 2,382 |

(2) 環境教育及び農業体験事業

将来の阿蘇を担っていくことになる地元の子供たちをはじめ、都市の子供たち、また高校生、大学生、団体へ、草原トレッキングやクラフト体験などを含め様々な自然・農業体験プログラム等の企画を通じ環境教育について取り組みました。

実績は以下の通りです。

| 開催日時 | 体験内容 | 参加者数 |
|--------------------|---|------|
| 8月8日(土) | ハウス食品食育ツアー(地元食材でカレー作り) | 40 |
| 8月9日(日) | バウムクーヘンづくり体験 | 30 |
| 9月2日(水) | 火消棒づくり体験 | 20 |
| 9月11日(金) | 長崎市立大浦小学校 (酪農、あか牛ふれあい、こんにやく作り、紙漉き体験) | 75 |
| 10月14日(水) | 下荻の草フットパス・ウォーク | 20 |
| 10月20日(火) | みんなで草泊まりを作ろう 草刈り編 | 3 |
| 10月24日(土) | みんなで草泊まりを作ろう 組み立て編 | 5 |
| 11月11日(水) | 大観峰ネイチャートレッキング | 9 |
| 12月21日(月) | ススキを使ったクラフト体験(フクロウ) | 14 |
| 1月14日(木) | ススキを使ったクラフト体験(ミニホウキとマット) | 18 |
| 2月9日(火) ~10日(水) | ススキを使ったホウキ作り体験 | 3 |
| 2月21日(日) | ススキを使ったフクロウ作り体験 | 19 |
| | 合計 | 256 |

(3) ゆたっと村での体験事業

修学旅行生、地元団体、一般の方などを対象に、ゆたっと村里山交流館の周辺の農地、山林等を利用した里山の暮らしの体験を行いました。

- ・12月26日 もちつき 22名参加
- ・1月9日 どんどこや 30名参加

その他の体験についても随時実施しました。

- ・こんにゃく作り体験 ・椎茸収穫体験 ・たけのこほり ・栗収穫
- ・ブルーベリー収穫 ・さつまいも収穫 ・梅収穫 ・季節の野菜収穫
- ・クワガタ取り体験

公2の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|-----------------|------------|----------------|
| 村民受取会費 | 168,000 | 村民会費 |
| 自然体験・農業体験学習事業収益 | 8,122,720 | 小中高民泊・体験受け入れ |
| ゆたっと村体験事業収益 | 150,000 | 竹箸づくり、こんにゃく作り等 |
| 受取補助金等 | 4,989,600 | 阿蘇市草原観光拠点づくり |
| 収入合計 | 13,430,320 | |
| 人件費計 | 10,862,510 | |
| 物件費計 | 6,290,753 | |
| 支出合計 | 17,153,263 | |

(収入) 13,430,320 円 - (支出) 17,153,263 円 = △3,722,943 円

3 調査・研究事業(公3)

6年目となる北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全実証事業に引き続き取り組み、経過報告と今後の調査及び実証事業を策定するための専門家委員会を開催しました。一方で、草資源の利活用について研究を進めています。

- ・草刈と刈草の運び出しによる希少植物の保全実証試験(6月19日、9月25日実施)
- ・植生調査(9月3、4、5日実施)
- ・専門家委員会の開催(第1回6月12日、第2回2016年1月28日)
- ・草資源事業化に向けた調査(報告書の作成)

公3の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|--------|---------|------------------------|
| 受取補助金等 | 650,000 | 阿蘇市草原環境共生基金30万、募金助成35万 |
| 収入合計 | 650,000 | |
| 人件費計 | 115,045 | |
| 物件費計 | 796,357 | |
| 支出合計 | 911,402 | |

(収入) 650,000 円 - (支出) 911,402 円 = △261,402 円

4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業（収1）

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。独特な事業として阿蘇のあか牛の増頭又は維持に向けた畜産農家への支援のために県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けました。

①あか牛オーナー制度について

（一般オーナー）

| | |
|-------------------|----------------|
| 平成 27 年度新規契約オーナー数 | 4 名（あか牛 4 頭） |
| 平成 27 年度時オーナー数 | 29 名（あか牛 30 頭） |
| 合計 | 33 名（あか牛 34 頭） |

（肥後銀行団体オーナー）

| | |
|-----------------|-----------------|
| 平成 23 年契約で今年度終了 | 196 名（あか牛 42 頭） |
|-----------------|-----------------|

受入牧野のエリアに関しては、南阿蘇畜産農業協同組合の協力もあり阿蘇市、南阿蘇村、高森町に及んでいます。また、オーナー代表者会議を年 2 回、名前書き交流会を年 2 回開催しオーナー制度の運営及びオーナーと受入農家との交流を図りました。

| | | | |
|-----------|----------|--------|------------|
| オーナー交流会開催 | 5 月 2 日 | 54 名参加 | （オーナー37 名） |
| | 8 月 22 日 | 20 名参加 | （オーナー10 名） |

②あか牛肉販売について

あか牛オーナー制度（オーナーより 1 頭につき 30 万円を預り金扱いとし、25 万円を畜産農家へ繁殖牛購入資金として無利子で貸し出す）については、年間 6 万円を目途にオーナーの申込みに応じてあか牛肉を 5 年に亘ってお届けするものです。

収 1 の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|----|
| 活動会員受取会費 | 113,000 | |
| 事業収益 | 6,272,310 | |
| 雑収入 | 304,330 | |
| 収入合計 | 6,689,640 | |

| | | |
|------|-----------|--|
| 人件費計 | 97,209 | |
| 物件費計 | 5,497,995 | |
| 支出合計 | 5,595,204 | |

（収入）6,689,640 円 －（支出）5,595,204 円 ＝ 1,094,436 円

5 食事提供及び農産物の販売等事業（収2）

あか牛肉の利用普及のために、ゆたっと村でバーベキューの提供を行いました。又、地元の農産物の販売を道の駅でも委託販売をして事業収入を図りました。一方で関係団体・個人などに働きかけて一般宿泊、団体宿泊、団体体験の誘客を進めました。

① ゆたっと村での宿泊、バーベキューを団体や個人に提供しました。

- ・ 宿泊、施設利用 216名
- ・ バーベキュー等の提供 179名

② 農産物の販売をしました。

農産物販売（ブルーベリー、栗、しいたけ、野菜など）
もち販売等

収2の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|------|-----------|----|
| 事業収益 | 1,158,164 | |
| 雑収入 | 77,466 | |
| 収入合計 | 1,235,630 | |

| | | |
|------|---------|--|
| 人件費計 | 165,573 | |
| 物件費計 | 510,805 | |
| 支出合計 | 676,378 | |

(収入) 1,235,630円 - (支出) 676,378円 = 559,252円

6 受託調査事業（収3）

阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業：環境省（通称「牧野カルテ」）

阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化（草原の活用、地名、希少動植物等の調査）及び草原保全（野焼き作業軽減の為の防火帯整備等の調査）について調査を行ってきました。

調査牧野は舞谷牧野、山田中部牧野（阿蘇市）、上田尻牧野（産山村）、下野牧野（南阿蘇村）の4牧野組合でした。

収3の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|------|------------|----|
| 事業収益 | 12,960,000 | |
| 収入合計 | 12,960,000 | |

| | | |
|------|-----------|--|
| 人件費計 | 3,148,597 | |
| 物件費計 | 6,393,663 | |
| 支出合計 | 9,542,260 | |

(収入) 12,960,000 円 - (支出) 9,542,260 円 = 3,417,740 円

7 受託管理事業 (収4)

(1) 事業の内容

環境省の「草原学習館」及び阿蘇市の「草原情報館」の2つの施設管理を受託し、それぞれ下記のような施設概要で、連携して管理運営にあたりました。主には財団で施錠、警備、清掃、日常管理、総合窓口、来客者対応、案内、展示物管理、情報提供ホームページ管理等を行ってきました。

(2) 施設の概要

①環境省「草原学習館」

- ・規模：建築面積 806.28 m²、延床面積：684.37 m²
- ・構造：木造平屋建て
- ・機能：レクチャールーム、展示、屋外作業スペース、事務室、トイレ、倉庫
- ・駐車場：普通車 33 台、身障者用 1 台、大型バス 2 台

②阿蘇市「草原情報館」

- ・規模：建築面積 729.48 m²、延床面積：648.07 m²、広場：1,200 m²
- ・構造：木造一部鉄骨造平屋建て
- ・機能：ワークスペース、事務室、オフィス、トイレ、倉庫、駐輪場
- ・駐車場：普通車 71 台、身障者用 2 台、大型バス 2 台

収4の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|-------------------------|
| 受託管理事業収入 | 8,974,700 | 草原学習館 718 万、草原情報館 179 万 |
| 収入合計 | 8,974,700 | |

| | | |
|------|-----------|--|
| 人件費計 | 4,785,111 | |
| 物件費計 | 3,709,437 | |
| 支出合計 | 8,494,548 | |

(収入) 8,974,700 円 - (支出) 8,494,548 円 = 480,152 円

7 法人会計

- ・月次決算等、会計処理については公認会計士に委託して運営しました。
- ・20周年記念事業の関係で、雑収入が突出しています。

法人会計の収支決算は次の通りです。

| 科目 | 金額 | 備考 |
|---------|-----------|---------------|
| 基本財産運用益 | 400,000 | |
| 維持賛助会費 | 3,377,000 | |
| 補助金 | 60,000 | 中退共 |
| 雑収入 | 2,238,997 | 20周年150万、交通費他 |
| 収入合計 | 6,075,997 | |

| | | |
|------|-----------|--|
| 人件費計 | 2,177,041 | |
| 物件費計 | 5,416,991 | |
| 支出合計 | 7,594,032 | |

(収入) 6,075,997円 - (支出) 7,594,032円 = △1,518,035円

二. 2016年度収支予算について

上記のとおり事業全体としての経常収支は

(収入) 85,119,186円 - (支出) 85,138,104円 = △18,918円

となります。

公益事業比率は、53,235,682円 ÷ 85,138,104円 = 62.53%
となります。